

## 専門委員会の審議状況について（報告）

前回の第4回国民経済計算部会（平成21年2月26日（木））以降の専門委員会の審議状況等は次のとおりである。

## 1 第2回財政・金融専門委員会（平成21年7月31日（金））

- 公的部門分類の見直しについて、内閣府からその方向性やシミュレーション結果、国際動向等を説明し、今回の提示案は国際基準に準拠したものであり評価できるとする意見があった。一方、分類の安定性・連続性にも留意すべきとの意見、金融の「売上」基準をもう少し整理すべきとの意見、社会保障基金についてはOECD等における基準を参考にすべきとの意見があった。次回（9月目途）の財政・金融専門委員会で、これらの意見を踏まえた検討案を内閣府から説明してもらい、意見をとりまとめることとされた。

## 2 第2回ストック専門委員会（平成21年3月17日（火））

- 新たな資本統計整備、インハウスソフトウェアの計上、育成資産の仕掛品在庫の推計方法の見直し等について、内閣府から推計方法等の状況を説明し、委員からの資本減耗に関する研究の報告があった。インハウスソフトウェアの計上、育成資産の仕掛品在庫の推計方法についてはおおむね妥当とされた。これらの課題について委員からの意見を踏まえ今後さらに検討を進めることとされた。
- 08SNAの非金融資産の課題20「土地改良」（「土地」を「自然の土地」と「土地改良」とに分けて整理すべき等）について検討し、土地を生産資産として扱うこと等から対応すべきでないとする意見や、「土地改良」は基準年を決めてそれ以後の分を計上する整理が現実的との意見等があった。これらの意見を踏まえ引き続き他の課題も含め検討を進めることとされた。